

一般会計決算に関する質疑(議員の視点)

発言の一部を抜粋して掲載しています

金田 英樹 議員

職員の勤務(残業)に関する条例改正について、結局は業務量を減らすか、人を増やすか、あるいは適正な業務量を個々の職員に割り振るか等の業務マネジメントの問題である。業務改善・改革の動きが鈍化しているが、本質的には業務のあり方、やり方を見直す必要がある。

答 職員の勤務時間は記帳が必要であり正確に把握することに努めている。業務改革を進める必要があると考えている。

豊瀬 和久 議員

高齢者が日々の買い物や通院、または免許返納した方への対応で、公共交通の見直しは待たなしの状況だと思うが、いつまでも結論が出ないのはなぜだ。早く公共交通の見直しを行うべきだ。

答 乗合タクシーで町内全域をカバーして、中心部は巡回バスまたはタクシーを運行する方針を公共交通会議で示し、来年度からまずは実証実験として進めていきたい。

山部 良二 議員

ストレスチェックを受診された方が249名いるが、その中で医師による面談を受けた方が1名しかいないのは少ないのではないかと。

答 ストレスチェックは学校の先生が受けられるものだが、希望される方が1名だけだった。

荒木 俊彦 議員

町営住宅の入居希望者が少ないので大規模改修が廃止も含めた計画が急務だということだが、どこの町営住宅が入居希望者が少なく、なぜ入居希望が少ないのか。応募がないのなら早急に改修をするべきではないのか。

答 あけぼの団地の高層階で大規模改修前のところが、募集をしても応募がない状況で、随時募集を行う。

佐藤 真二 議員

基金の利息が期待できない。宇城市では基金の安全運用で成果を上げている。基金の運用を考えるべきではないか。

答 必要性を感じる。自治体における資金の運用に関する研修会への参加など研究を始めている。

永田 和彦 議員

非常勤職員や臨時職員が会計年度任用職員に移行することで、一般財源から多大な額が決算に上がっている。今後は、会計年度任用職員として必要な業務内容なのかなどの見直しが必要ではないか。

答 非常勤職員や臨時職員の業務を担っている方は、今後、会計年度任用職員に移行することで予算も上がるので、業務内容もそれに見合うように見直していく。

国民健康保険歳入歳出決算に対する討論

発言の一部を抜粋して掲載しています

反対

・国民健康保険は約2億円の黒字であるので、子どもに対する均等割の課税を全額免除するべきではないか。
決算認定は町民の福祉の向上が進められているかどうかの観点が必要で、決算状況から見ても改めるべきだ。



荒木 俊彦 議員

賛成

・反対討論にあったように、国保税は人頭税であり問題だと思う。しかし、この議決は決算認定であり、制度そのものを否定の根拠にすることはできない。



佐藤 真二 議員



9月定例会を、9月5日から9月19日までの15日間の会期で開きました。一般会計補正予算をはじめ条例の制定など26件の議案を審議し可決しました。平成30年度一般会計・特別会計などの8会計では審議の結果、すべての決算を認定しました。また、議員発議の「高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書」を全員賛成で可決しました。最終日に追加議案として、固定資産評価審査委員会委員に杉水英治さん(室)が、教育委員会委員として寺下早苗さん(引水)が同意されました。一般質問には9人が登壇しました。(P12からP16に関連記事を掲載)

議員の賛否を公開します

上程された議案	桐原	府内	荒木	津田	永田	手嶋	坂本	源川	本田	佐藤	豊瀬	金田	山本	山部	三宮	賛成	反対
	則雄	隆博	俊彦	桂伸	和彦	靖隆	典光	貞夫	省生	真二	和久	英樹	富二夫	良二	美香	○	●
一般会計歳入歳出決算の認定	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退
その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会 検索

詳細はこちら



大津町議会HP会議録